

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第3期小牧市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県小牧市

3 地域再生計画の区域

愛知県小牧市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、2015年の153,728人をピークに減少しており、住民基本台帳によると2024年には149,146人まで落ち込んでいる。小牧市まちづくり推進計画第2次基本計画における将来人口推計によると、2060年には総人口が121,516人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は、1979年の29,366人をピークに減少し続けており、2024年には17,655人となる一方、高齢人口（65歳以上）は1978年の5,307人から、2024年には38,248人と増加の一途をたどっており、今後は少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も2005年の106,548人をピークに減少傾向にあり、2024年には93,243人となっている。

自然動態をみると、出生数は2000年の1,647人をピークに減少傾向となり、2023年には899人となっている。その一方で、死亡数は2023年で1,564人と増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲665人（自然減）となっている。

社会動態をみると、1995年までは、転入者（7,345人）が転出者（6,812人）を上回る社会増（533人）を保ってきたが、それ以降は、市外への転出者数が減少傾向になることはなく、毎年同規模で転出する一方、転入者の増加は落ち着きを見せていることから、転入者・転出者はほぼ同程度となっている。また、近年は国

外からの転入者に支えられながら、わずかな転出超過と転入超過を繰り返しており、2023年には、72人の社会増となった。このように、人口の減少は出生数の減少と死亡数の増加（自然減）が最も大きな原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足や地域コミュニティの衰退、地域産業の人手不足等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減を避ける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 仕事をつくり、働く力を育むまち
- ・基本目標 2 人の流れ、にぎわいを生み出すまち
- ・基本目標 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち
- ・基本目標 4 魅力にあふれるまち
- ・基本目標 5 暮らしの安心を支えるまち

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2027年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内総生産額	1,338,480百万円	1,449,289百万円	基本目標 1
	耕作放棄地の面積	65ha	62ha	
イ	小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	81.3%	84.0%	基本目標 2
ウ	安心して子育てができるまちだと思ふ保護者の割合	86.1%	90.0%	基本目標 3
エ	中心市街地に立地している 主な公共施設の来館者数	108万人	110万人	基本目標 4

	(再掲) 小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	81.3%	84.0%	
オ	地域に貢献する活動をしている市民の割合	23.1%	26.5%	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

第3期小牧市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 仕事をつくり、働く力を育む事業

イ 人の流れ、にぎわいを生み出す事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 魅力にあふれるまちをつくる事業

オ 暮らしの安心を支える事業

② 事業の内容

ア 仕事をつくり、働く力を育む事業

産業構造、人々の働き方、ライフスタイルが大きな変革期を迎える中、本市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援するほか、農業の持続的発展を支える環境を醸成することにより、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを構築する事業

【具体的な事業】

- ・ 市内産業力の強化と地域経済の活性化
- ・ 農業の担い手の育成・確保
- ・ 既存事業者の経営支援

- ・民間活力の活用や連携の推進 等

イ 人の流れ、にぎわいを生み出す事業

若い世代が住みたい、住みたいと思える魅力あるまちづくりを進めることにより地域活性化を図るとともに、市民の愛着や誇りを醸成し、市内外から支持される魅力あるまちづくりを進める事業

【具体的な事業】

- ・関係人口の拡大・深化
- ・シティプロモーションの推進
- ・人材の確保・育成と求職活動の支援
- ・若年世代の定住促進 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

本市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるため、家庭環境や境遇に関わらず、すべてのこどもたちが夢を育み、夢へのチャレンジをまち全体で応援できる環境を構築するとともに、来るべき未来社会を見据え、こどもたちが社会の変化とともに自らを成長させ続け、生き抜いていける確かな力を身につけるための環境を整備する事業

【具体的な事業】

- ・こどもたちの夢への挑戦の支援
- ・子育て家庭への支援強化
- ・未来を見据えた教育環境の整備
- ・児童生徒の学びや学校生活の充実 等

エ 魅力にあふれるまちをつくる事業

「小牧市中心市街地グランドデザイン」による中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、「東部振興構想」に基づく新たな魅力の創出や魅力の再発見を通じて誰もが暮らしたくなる東部のまちづくりを進め、北西部地区についても道路や北西部地区公園などの基盤整備を計画的に進める事業

引き続き行政が率先して温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、市民、事業者等の省エネ・再エネ・蓄エネの取組を促進し、市全体でカーボンニュートラルの実現を目指す事業

【具体的な事業】

- ・魅力と活力ある中心市街地の創出
- ・夢と希望あふれる東部地域の振興
- ・エネルギーの地産地消の推進
- ・史跡小牧山の保存・活用 等

オ 暮らしの安心を支える事業

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環する仕組みを構築する事業

【具体的な事業】

- ・人生 100 年時代の健康づくり支援
- ・生涯学習を通じた生きがいづくりと地域を支える人材育成
- ・健康づくり・地域の支え合い活動の循環
- ・市民一人ひとりの防災意識の向上 等

※ なお、詳細は第 3 期小牧市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

10,500,000 千円（2025 年度～2027 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 11 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本市公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2028 年 3 月 31 日まで